

リハビリ通信

第 29 号

令和 8 年 7 月 1 日

リハビリ通信担当者発行

1. リハビリテーション科のご紹介

当院リハビリテーション科は、理学療法士 (PT) 21 名、作業療法士 (OT) 8 名、言語聴覚士 (ST) 4 名、リハビリテーション助手 1 名の計 34 名で構成されています。

患者さん一人ひとりの状態や目標に合わせ、身体機能の回復だけでなく、日常生活動作の向上や社会復帰を見据えたリハビリテーションを提供しています。医師や看護師をはじめとする多職種と連携し、安心して治療や療養に取り組んでいただけるよう支援しています。

今年度は新たに 3 名の理学療法士が入職しました。フレッシュな力が加わり、先輩スタッフの指導のもと日々研鑽を重ねています。今後もスタッフ一同、専門性の向上に努めながら、地域のみなさまに信頼されるリハビリテーション医療を提供してまいります。

2. 宇都宮農園

リハビリテーション科屋上テラスでは、作業療法の一環として夏季は野菜・冬季はお花を育てています。今年は、ミニトマト・しそ・なす・オクラ・きゅうり・ピーマンを植えました。去年植えたパンジーも、綺麗に咲いています。患者さんと訓練の一環で水やりを行い、日々の植物の成長を観察しています。

野菜や花を育てることは、季節の移り変わりを感じる機会になるだけでなく、屋外で過ごすことで気分転換や離床のきっかけにもなります。

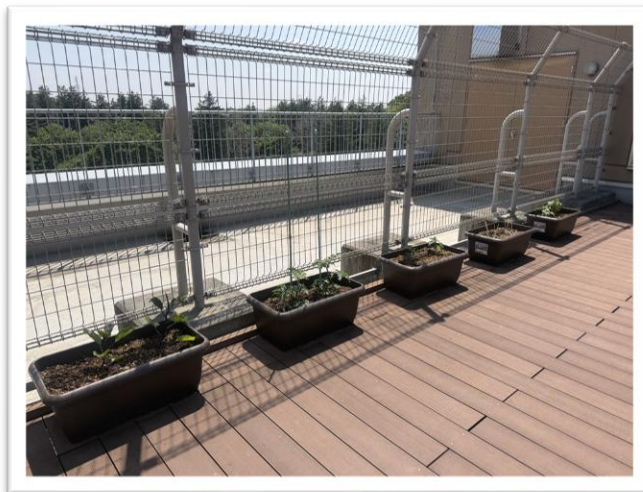
活動を楽しみながら行う中で、「いつもより手を使っていた」「長く座ることができた」「立ち上がることができた」など、自然と身体を動かす機会につながります。私たちは、こうした園芸活動を通して身体機能の維持・向上を図り、患者さんの早期退院につながるよう支援しています。



ミニトマト



なす



3. 出前講座（転倒予防）

コロナ禍で中断していた当院の出前講座ですが、本年度より再開されました。地域の方より、転倒予防に対してのご依頼があり、6月5日に「出前講座（転倒予防）」を行いました。当院からは3名の理学療法士が台岡本三区公民館まで伺い、会場には16名の方が参加されました。講義中、参加された方は積極的に身体を動かしており、熱心に取り組まれました。

今後も、地域のみなさまのご要望に応じて健康維持に役立つ情報をサポートしてまいります。



暑くなる日も多くなってきました。筋肉は水分をためる役割があり、筋肉をつけることは脱水症状の予防につながります。適度な運動を行い、熱中症対策をして厳しい夏を乗り越えましょう。